

令和7年2月6日
第3回全体研究会

小学部研究 実践報告

- 情報活用能力とは…？学習の基盤となる資質・能力
- 情報を扱う=ICT機器を使う いやいや…
- 小学校はすごいICT機器活用しているよね…
- 小学部段階における情報活用能力って？
- この子たちの『情報』ってなんだ？
- なにをどう指導していけばいいのだろうか…



研究テーマ

「小学部段階における情報活用能力を育成する指導場面の検討」



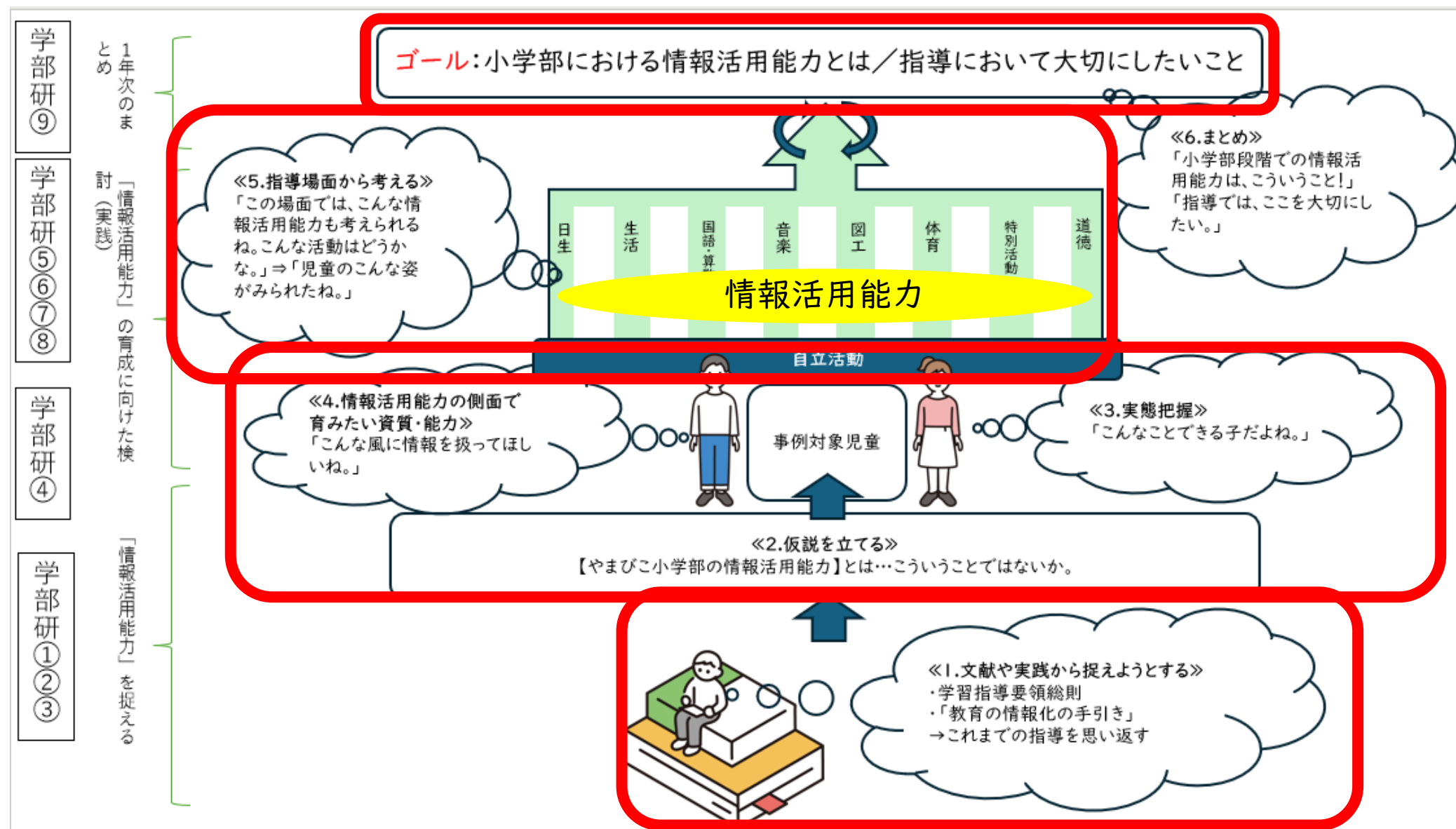
研究目標

(1) 本校小学部の児童に必要な“情報活用能力”とはどのようなものかを捉え、それを育成するにはどのような方法があるか、また指導において大切なものは何かを検討する。

(2) 学部研究(文献を読み解く、事例検討等)を通して、“情報活用能力”に関する考えを深め、小学部の教員としての指導力を向上する。



研究方法と計画





研究実践

- ①情報活用能力を捉える
- ②事例検討
- ③まとめと課題



〈情報活用能力〉と聞いて…イメージの共有

ICT機器の活用
(ipad, ハワイ・ポイント 等)
アプリを用いた教材 教材を共有するもの

Ipadで 興味のある
動画 (ユーチューブ) を見る。

ICT機器の活用

・使いたいアプリを検索し
使う。

表現の補助手段?

コミュニケーション ^{伝える・伝わる}
(基礎は 人間関係の形成?)

場所 → 取る行動の選択
↑
自分が

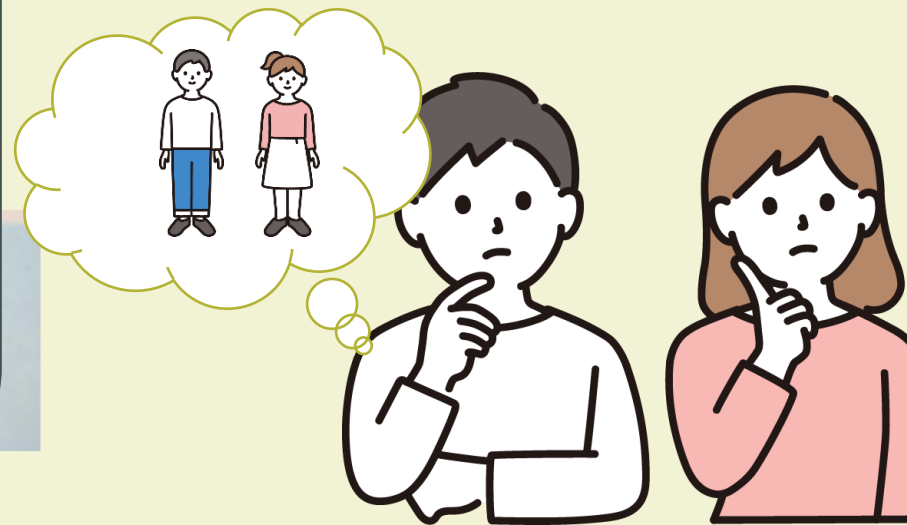
情報の選択・発信

考え
思い
思考
発信する力

イラストや文字などの情報から
自分の意思を選択して
決定する力 発信する

外界から入ってきたものを
自分の中でいかに処理
情報 ^{整理}
情報の整理

例)
朝の会で 学校生活に見通しをむ
(周りの情報と日常生活をむ)



学習指導要領**総則**_(p207,208)を読む

→「情報活用能力を育む上で**大切となる視点**」

(a)近年の「ICT機器の活用」の流れと「情報活用能力」の区別をつける必要があること

(b)五感を使って感じたり、気付いたりすることが情報を得る基礎ではないかということ。

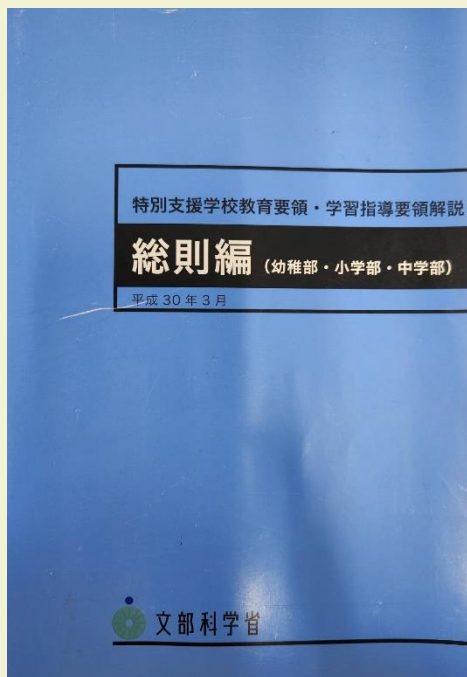
(c)得た情報を生活の中で使うことが大事であること。

(d)得た情報を伝える、発信する場があることが大切であること。

(e)小学部における「情報」「情報手段」は広義であることを理解すること。

(f)低学年「外界のものを取り入れる、五感から試す」高学年「言葉、言葉にのる思いをくみ取る、伝えたいという思いをもつ」がキーワードとなるのではないか、ということ。

(g)外界に関心を向け、情報を取り入れたい、知りたい、伝えたいといった思いを育てることが大切ではないか、ということ。



教育の情報化に関する手引き (p23,24) を読む

→「情報活用能力を構成する資質・能力」とは

特別支援学校教育要領・学習指導要領解説

総則編 (幼稚園・小学部・中学部)

平成 30 年 3 月

文部科学省

(参考：情報活用能力を構成する資質・能力)

(知識・技能)

情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法・制度やマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。

(思考力・判断力・表現力等)

様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見出す力や、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。

(学びに向かう力・人間性等)

情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けていること。

教育の情報化に関する手引

令和元年 12 月

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第 2 章
情報活用能力の育成

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
1	情報と情報技術を適切に活用するための知識・技能	問題解決・探究における情報活用方法の理解	情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度
2	情報モラル・情報セキュリティ	情報モラル・情報セキュリティ	情報モラル・情報セキュリティ

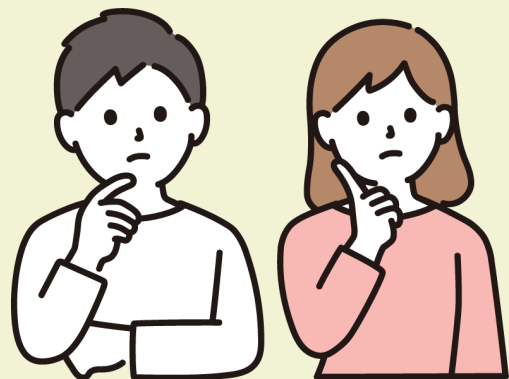
表 2-4 IE-School における実践・研究を踏まえた情報活用能力の例示

一方、学習指導要領解説では、情報活用能力の育成に関して、「これを確実に育んでいくためには、各教科等の特質に応じて適切な学習場面で育成を図ることが重要である」とともに、そうして育まれた情報活用能力を発揮することにより、各教科等における主体的・対話的で深い学びへとつながっていくことが一層期待されるものである。」としている。そこで、IE-School では、情報活用能力の育成に関わる事例を学習内容という観点から 4 つの分類に整理し、「想定される学習内容」と位置付けた。

想定される学習内容	例
基本的な操作等	キーボード入力やインターネット上の情報の閲覧など、基本的な操作の習得等に関するもの
問題解決・探究における情報活用	問題を解決するために必要な情報を集め、その情報を整理・分析し、解決への見通しをもつことができる等、問題解決・探究における情報活用に関するもの
プログラミング (本質的ではなく、表面的な操作における情報活用の一環として整理)	単純な繰り返しを食んだプログラムの作成や問題解決のためにどのような情報をとらなければならないか、多角的に捉えたり、複数の情報を基に自分の考えを深めたりするもの
情報モラル・情報セキュリティ	SNS、ブログ等、相互通信を伴う情報手段に関する知識及び技能を身に付けたりするものや情報等を多角的・多面的に捉えたり、複数の情報を基に自分の考えを深めたりするもの

表 2-5 情報活用能力育成のための想定される学習内容

小学部における〈情報活用能力〉の捉え（我々の考え）



低学年

〈知技〉情報を得る、外へ意識を向ける（気付く）

〈思判表〉情報を選択する、イラスト・写真と事象を結び付ける

〈学び・人間性〉事象・物事に興味をもとうとする、外へ疑問をもとうとする、気付きを共有しようとする

高学年

〈知技〉教師（人）を含め外の環境から情報を得る

〈思判表〉自分にとって必要な情報を「…ということはこうかな？」と考えるために使う

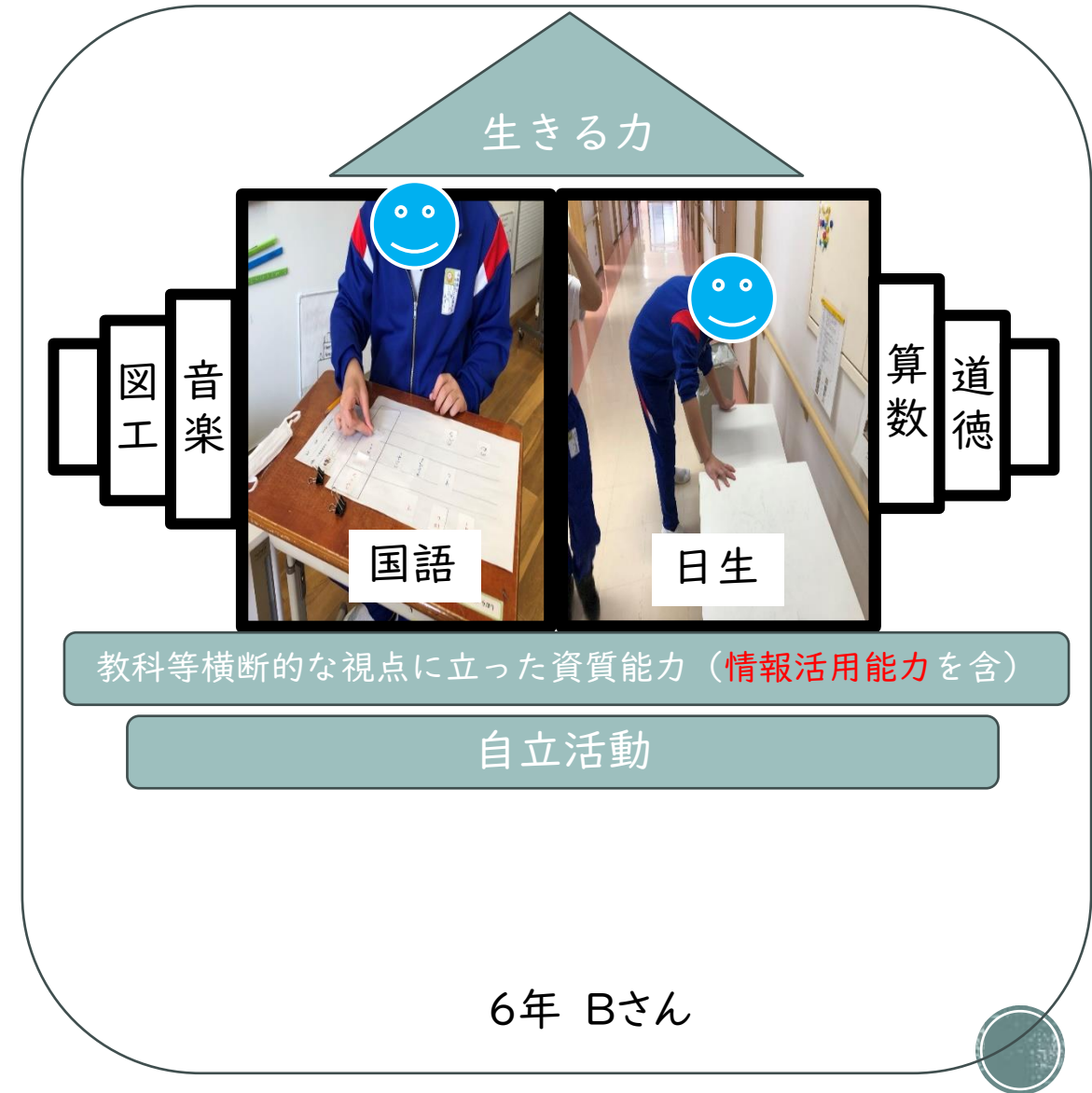
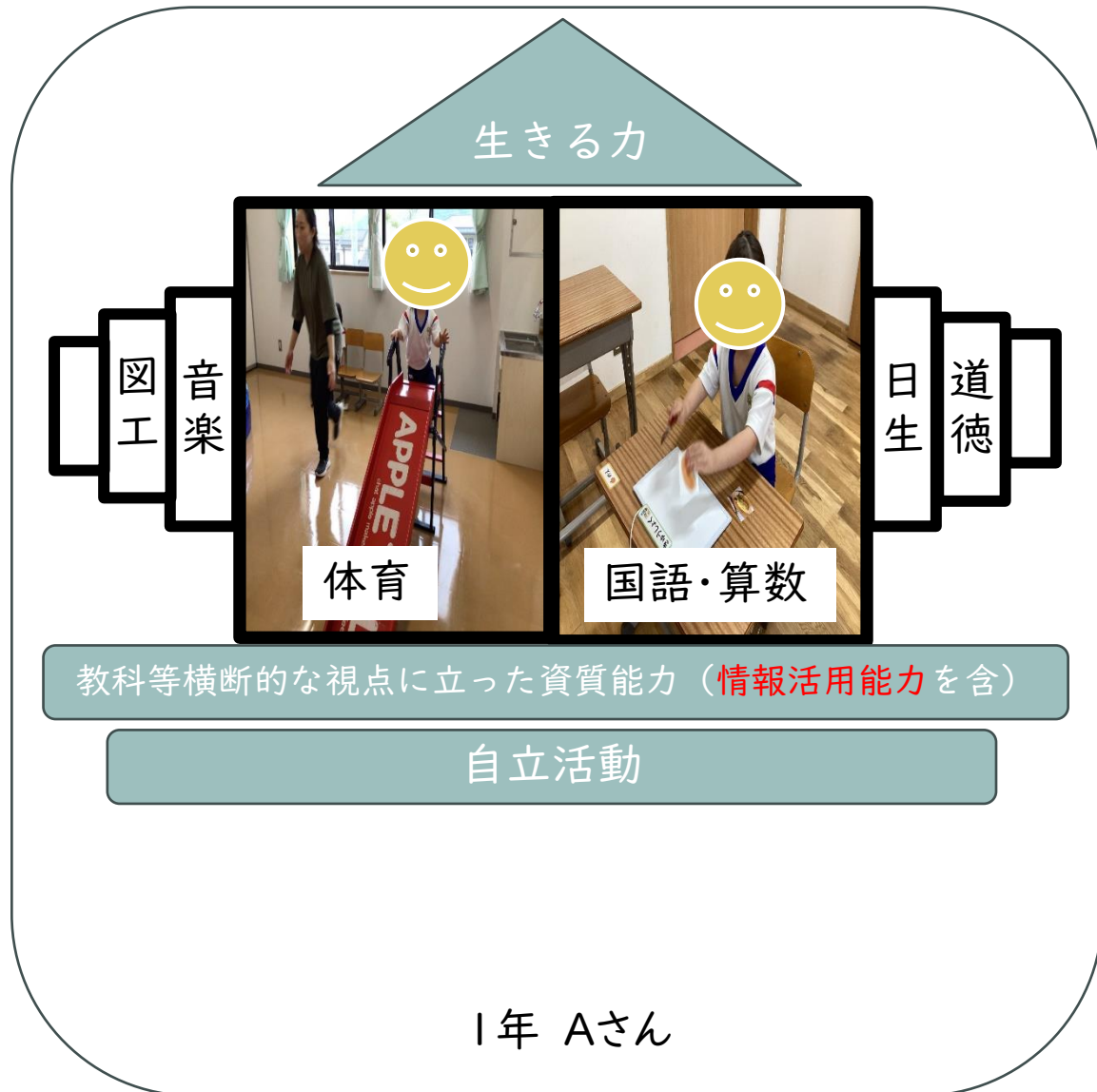
〈学び・人間性〉教師（人）を含め外の様子を意識して「こうかな？」と思おうとする。

→小学部段階でより重要視したいことの明確化

情報モラル
情報セキュリティ

[illegible]

事例対象児童・指導場面を選定



Aさんについて

対象児童〈 1年 A 〉

- ・斜視、眼振も見られる。一方で、自分の水筒は遠くても見つけることができる(色?)
- ・人への関心は高い。・こだわりが多い。・初めてのことが苦手

学部研④R6.7.24

	ICT 活用能力実態チェックシート より(分類を抜き出して記入)	今、どのような様子・段階か。 (例:今はどのように情報収集をしているか等)	課題はなにか。	どういう力を身に付けてほしいか。
知	(2)①情報収集	・授業は、あいさつと共に(その前に)離席して歩き回っている。こちらの考える学習内の情報収集をしている様子はないのが現状。 ・TVは近距離で見る(もはや物TVの中のものとは捉えられないであろう近距離) ・人の顔も近くで見る。	・何をする時間なのか、わかっていない。本児に意味のある情報(環境?活動?)がなく、離席をするのではないのか。	・教師に注目する力「あ、先生だ」「あ、何か言っている」と思って注目してほしい。 ・提示したもの(絵本や教材)を見てほしい。提示したものから情報を得る力。
思	(1)②新たな意味や価値を創造する力 なんの情報もおおまかに捉える	・朝の会にて、自分の顔写真パネルを写真の方を表にし、向きをそろえようとパネルの向きを試行錯誤し、おおむね枠の中に貼ることができるようになった。これまでは、パネルを捨てたり、顔写真を裏にして置いたりしていたが、様子に変化がみられるようになった。 ・初めてのことが苦手で2回目からは様子が変わる(つまり「初めて」がわかっている)ex.校外学習、はじめは玄関から一歩も歩かない。2回目以降は、歩く距離がどんどん伸びていった。	彼女の見通しの持ち方(情報の取得方法)を広げていけるか…。 実体験をくり返すことの重要性を感じる。積み重ね大切。	・ゆくゆくは、「ごはん」→ごはんのカードを手にとれる等、彼女にとって意味のある情報の取得から、その情報の内容をつめる力をもってほしい。
学	(1)①多角的に情報を検討しようとする態度 必要な情報を見つけようとする			・見ようとしてほしい。 ・外(こちらの示すもの)へ関心をもってほしい

児童の実態を受けて…

⇒指導場面

(国語算数※個別) ・ (体育)



Aさんについて

〈現状や担任の思い〉

- ・**情報収集**の点で、低学年の中で一番の困難さをもっているのではないか。(授業中の離席=することがわからない、近距離での観察等の様子=提示されているものへの関わり方から)
- ・**本人が状況を捉えて、理解し**、活動に参加するための支援や学習に向かおうとする環境づくりが必要ではないか。その支援や環境づくりは、どの授業場面にも通づるのではないか。
- ・**外(こちらが示すもの)への関心**をもってほしい、見ようとしてほしい。



〈身に付けさせたい情報活用能力〉

知:ものや人から、自分のやること(情報)を得る。

(本児にとっての情報は、自分にダイレクトに関わるものとなるという考えから)

思:知っていること・ものと、もの・言葉を結びつける。

学:「やりたい」「たのしかった」を共有しようとする

(相手に向かった発信、その良さを感じる)



Aさんにとっての情報活用能力

- ・情報を得ようとする力（見よう、聞こう、触ろう、やろうとすること）

Aさんにとって必要な手立て、指導において大切にしたいこと

- ・繰り返し取り組むことで、「やってほしいこと（授業の流れ）」を伝えること
- ・本児にとってわかりやすい言葉を使うこと、また言葉数の精選をすること
- ・物理的に視界を広げる手立て（教材の提示位置、書見台の活用）
- ・「今できること」をベースにした授業づくり、活動設定をすること



Bさんについて

対象児さんについて、
・ある程度この情報が保たれる
・せいぜい「周囲の影響をうけて、それが表に出る」ことが多い。
・周囲からの情報収集も適度に行っていると考えるため。

学部研④R6.7.24

対象児童く6年・B

	ICT 活用能力実態チェックシート より(分類を抜き出して記入)	今、どのような様子・段階か。 (例:今はどのように情報収集をしているか等)	課題はなにか。	どういう力を身に付けてほしいか。
知	(2)-① 「情報収集」を中心に、 「問題解決・探究における情報活 用の方法の理解」	・周囲の真似(みんなが言っているからマネして 「おいしい!」) ・以前の経験(この前友達がお休んだ時「おだいじ に」だったから、今回も) ・聞く・見る(ホワイトボードに日直の名前が書 いてある、「今日は着替えません」と書いてある)	・情報を自分から得に行く場面があま りないかも。見れば気づくけど、みたい なことが多いかも。 ・読み取る、みたいなことはあまりやっ ていないかも。ぱってと見てわかること はいいのだが...	・情報を得るために、自らアクションを起こ す姿勢? ・読み取る力アップ
思	(1)-② 「新たな意味や価値を創造する 力」	・得た情報をそのまま使うことが多い? (「〇〇します」と書いてあるからそうする、「〇〇 をもっていきます」と書いてあるからそうする)	・情報を組み合わせて考える、いくつか の情報を整理する、自分の言葉でまと める、みたいな場面はあまりないかも。	・得た情報から考える...とか?
学	(1)-① 「多角的に情報を検討しようとする 態度」	・得た情報をそのまま使うことが多い?	・情報を得ようとする場面のバリエーシ ョンを増やしたい(広げる)。 ・見てわかる、みたいな場面はよくある ので、なんらか目的をもって見に行く、 取捨選択する、という場面?	・自分に必要な情報は何か、という見方を する。そのための情報を得ようとする。

児童の実態を受けて...

⇒指導場面 日常生活の指導、国語

※P6に示された「学習内容別」のチェックシートに

よると、全て「問題解決・探究における情報活用」
分類されている。

Bさんについて

〈現状や担任の思い〉

- ・最近、友達や教師の真似をする等、「**周囲の影響を受けてそれが表に出る**」ことが多く、**周囲からの情報収集が活発**になってきていると考えられる。
- ・**情報を自分から**得に行くことはあまりない。



〈身に付けさせたい情報活用能力〉

知: 情報を得る。(ポイントとなるのは、「言葉」?)

思: 得た情報を使う。(知った言葉を使う。「この場面ではこうする」と知ったことをやってみる)

学: 得た情報を使うよさに気付く。(相手が反応してくれたのようなよさも含む)



Bさんにとっての情報活用能力

- ・情報を自分から得にいく力

Bさんにとって必要な手立て、指導において大切にしたいこと

- ・得た情報に意味づけをしていくこと
- ・もっている力を活かして手段を広げていくこと
- ・「いつもと違う」状況を意図的につくること

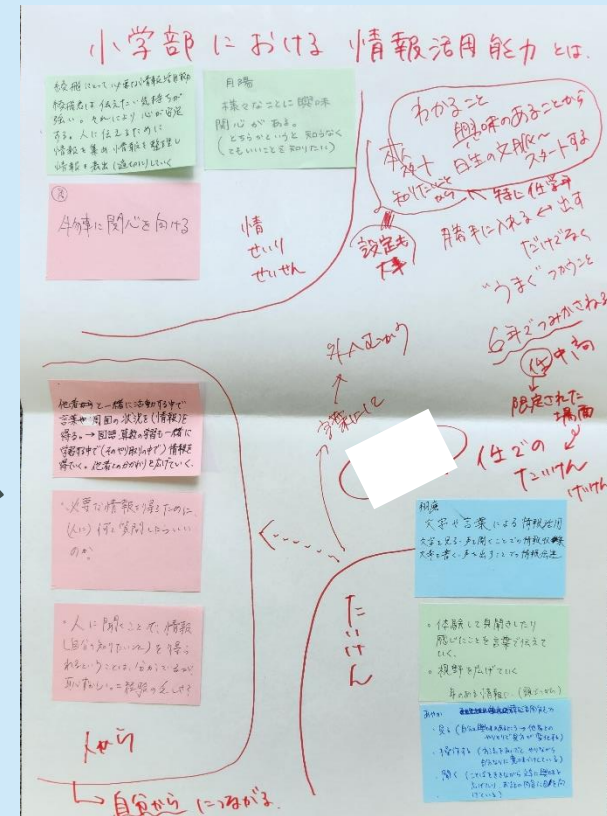


まとめ①「小学部段階における情報活用能力とは」

○情報を整理する力

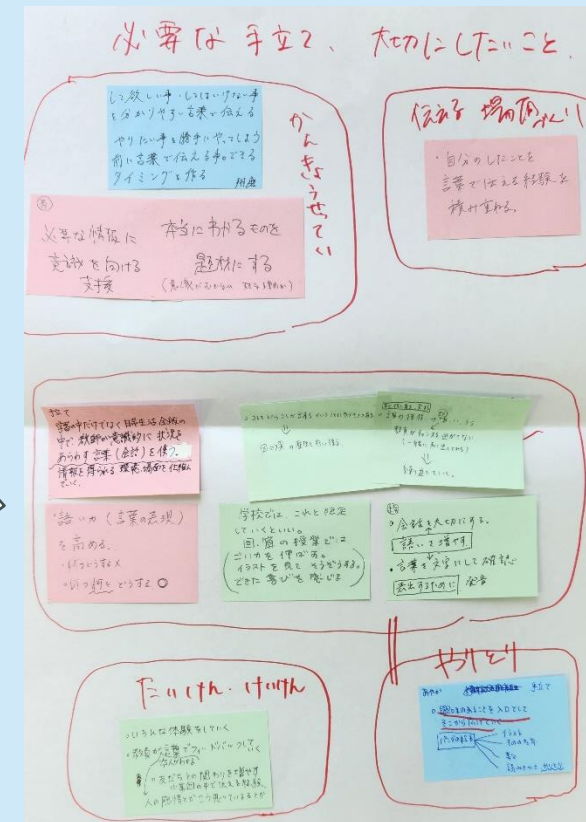
○人(友達を含む)から情報を得る力

○体験をもとに情報を得る力



まとめ②「指導において大切にしたいこととは」

- ・環境設定をすること(情報を得たり、発信しやすい環境を意図的に設定する)
- ・得た情報を伝える場面をつくること
- ・言葉の力をつけること(語彙を増やすことを含む)
- ・体験や経験を大切にすること(それを伴った身のある言葉をもつこと)
- ・興味のあることを入り口に、やりとりを広げていくこと(人との関わりの基盤づくり)



今後の課題

「小学部」の視点から→「低学年」「中学年」「高学年」の視点へ

小学部段階でのICT機器の活用の検討

「情報活用能力」と各教科等の関係性の再確認の上、授業場面の検討を



ご清聴ありがとうございました。
